

森林文化アカデミーの学科構成

森と木のエンジニア科 (高校卒業以上対象)

1年時

林業・林産業の基礎知識

2年時
選択

林業コース

林産業コース

森と木のクリエイター科 (大学卒業以上対象)

建築・林業・木工・森林環境教育

エンジニア科への入学

- ◆履修期間 2年
- ◆学年定員 20人(林産業コースで10人程度)
- ◆入試 【推薦入試】個別面接 【一般入試】作文(800字程度)＋個別面接
 【学校長推薦】在学高等学校長の推薦を受けたもの
 【事業者推薦】市町村長または事業者、事業体等から推薦を受けたもの
- ◆授業料等 入学金 169,200円 授業料 118,800円/年
 入学金＋2年間授業料＝合計406,800円

奨学金制度

大垣共立銀行	十六銀行	岐阜信用金庫	美谷添奨学金
森林文化アカデミー奨学金	森林文化アカデミー奨学金	森林文化アカデミー奨学金	(H21～H29)
支給額 年額108,000円	支給額 年額108,000円	支給額 年額108,000円	支給額 年額100,000円
支給期間 2年間	支給期間 2年間	支給期間 1年間(1年時)	支給期間 1年間(2年時)
対象者 1年生(1名)	対象者 1年生(1名)	対象者 1年生(1名)	対象者 2年生(1名)

※この他日本学生支援機構の奨学金(貸与)もあります ※記載した奨学金・給付金制度は、変更される場合があります。

給付金制度

緑の青年就業準備給付金 2年で300万円上限(年間150万円上限、奨学金と併用可)

卒業後に林業分野へ就業し(就業時年齢45歳未満)、その中核を担うことに強い意志を持っている者に対し、準備金として給付する岐阜県の制度です。

岐阜県内外の418社の製材加工業などへの就業の他、県内86社の工務店へ就業することで、給付の対象となります。

林産業コースの卒業時に取得できる資格

- ・伐木等の業務に係る特別教育修了証
- ・刈払等取扱い作業者に対する安全衛生教育修了証

林産業コースで取得を支援する資格

2級建築士・木造建築士 (受験に必要な実務経験年数を7年から3年に短縮。さらにクリエイター科へ進学で卒業と同時に受験可能)

- ・大型特殊免許
- ・車両系建設機械(整地等)運転技能講習修了証
- ・不整地運搬車運転技能講習修了証
- ・小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- ・玉掛け技能講習修了証
- ・フォークリフト運転技能講習修了証
- ・狩猟免許(わな猟)

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
 TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529
 事務局E-mailアドレス info@forest.ac.jp
 ホームページ http://www.forest.ac.jp

森林から木材へ、
木材から暮らしへ。

森と木のエンジニア科
「林産業コース」





「木の言葉を理解したい」

私は「山に関連する仕事に尽きたい。その際、正しい知識と考え方を持って働きたい」と思い、森林文化アカデミーに行き着きました。

アカデミーでは木材を中心に、幅広い授業の中で「木材としての木」だけでなく「生物としての木」「環境の中の木」など同じ木を様々な側面・角度から学び知ることができました。

木材の特性とそれが育った環境には非常に面白い関係があり、製材所で働いている現在も、アカデミーで学んだ知識と経験は、非常に大きな力となっています。

近藤 芳輝さん

【森林文化アカデミー10期生】

愛知県出身
岐阜県立看護大学卒業
高山市内の病院にて看護師として従事
森林文化アカデミーエンジニア科入学

アカデミーで木材を学び、製材業へ就職



「川上から川下まで。
地域材を利用した家づくりを目指して」

大工の父達を見て育った私は、小さな頃から建築の仕事に就くことが夢でした。高校で森林について学んでいたこともあり、木のこと山のことを学びたいと思いアカデミーに入学しました。

アカデミーでは幅広い年齢や分野の方と知り合うことができ、実践的な実習が多く社会に出て役立つことばかりでした。

会社には現場監督として入社しましたが、設計をするにしても現場がわかる設計士になりたいとの思いからでした。現在は展示場での接客や積算、作図などを行っています。お客様との打合せでより良い提案ができるのは現場監督の経験があるからだと感じています。

森 瑛子さん

【森林文化アカデミー2期生】

岐阜県出身
岐阜県立郡上高等学校
森林科学科卒業
森林文化アカデミーエンジニア科入学

アカデミーで建築の施工の面白さを体験し、工務店へ就職

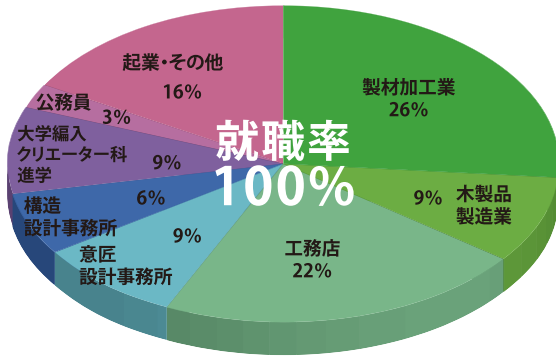
森林文化アカデミー「林産業コース」の人材目標

県産材や林業を理解するとともに。原木から製品までの流通、木材の品質管理を行う人材
木材の付加価値を意識して、木材や加工品を扱う人材
木材の性質を理解して、木造建築の工事監理を行う人材



ひとりひとりに合った仕事へ。充実のサポート体制です。

就職先業種の割合



窓口の充実

森林文化アカデミーでは、学内に設置された「キャリア支援センター」「エンジニア科会議」などを中心に、学生の就職活動のサポートをしています。

就職活動のための授業

2年間を通じて「キャリアデザイン」、「インターンシップ」「企業研修」と就職活動のための授業を置き、各々の将来像をしっかりと描けるように導きます。

企業との幅広い交流

県内企業の採用担当者を毎年10社程度お呼びする「企業説明会」。同じく代表を毎年数社お呼びする「キャリアカフェ」を行っています。

プロ向け講習会である「専門技術者研修」も、年に30研修程度、延べ参加者600名程度に及び、建築などの実務者が毎週のように出入りしていることから、就職につながるケースもあります。

就職先企業等

◆工務店

本庄工業 (株) (岐阜)
山喜建設 (株) (岐阜)
二村建築 (岐阜)
西川建設 (岐阜)
ウッドフレンズ (愛知)
(有)番匠 建築業 (静岡)
小澤建築工房 (山梨)
大和社寺工営 (奈良)
(株) 清水工務店 (和歌山)
小田工務店 (福岡)

◆製材加工業

マルワイ製材所 (岐阜)
親和木材工業 (岐阜)
小林三之助商店 (岐阜)
後藤木材 (株) (岐阜)
末永製作所 (岐阜)
井納木材 (株) (岐阜)
セブン工業(株) (岐阜)
雉子舎 (岐阜)
(株) 佐合木材 (岐阜)
笠原木材 (岐阜)

◆木製品製造業

飛騨産業 (岐阜)
トーカイ株式会社 (岐阜)
トーホー (岐阜)
丸七ヒダ川ウッド (岐阜)

◆設計事務所

一級建築士事務所 TEDOK
MSD (岐阜)
(有)アーキキューブ (岐阜)
(有) Ms建築設計事務所 (大阪)
胡桃設計事務所 (大阪)

編入先大学等

森林文化アカデミー・クリエイター科 (岐阜)
名古屋造形大学編入 (愛知)

信州大学農学部森林科学科編入 (長野)
愛媛大学編入 (愛媛)



級建築士事務所 TEDOK

「地域材を使った建物の構造設計」

福本 満夫さん

【森林文化アカデミー5期生】

岐阜県出身
岐阜県立岐南工業高等学校建築科 卒業
森林文化アカデミーエンジニア科 入学

アカデミーで建築について見聞を深め、
構造設計事務所へ就職。

私が勤務している事務所は、地域の木材を使った建物（住宅や道の駅など）の構造設計と、地域の木材を使用した、新しい工法開発のお手伝いが主な業務です。
木材は、二本木特性が異なるため、鉄やコンクリートのような工業製品にはない「扱いの難しさ」があると感じています。アカデミー在学中に最先端の研究をされている先生方から教えていただいた、木材の扱い方や木材の特性に関する考え方は、日々の業務でも役立っています。

林業

「川上から川下へ。森林で行う、現地 現物主義の学び」



害獣対策と獣肉処理の実習

- ①枝打ち実習の様子
- ②演習林でエンジニア科1年集合
- ③チェーンソーでの伐採
- ④林業機械の操縦を学ぶ

の知識やIT化による生産効率向上について、害獣対策まで、豊富な経験と、最新の情報で指導を受けます。

林業が多くの産業と密接に繋がっており、自分たちの刈り出した木が、様々な業種に携わる人々を支えていることを、実感として学べるカリキュラムです。

そして二年時には、木材を産業として活用していく人材を目指す「林業コース」を選択できます。

エンジニア科の二年時は、林業と、それに関わる産業についての基本を学びます。

約33ヘクタールの広さを持つ「演習林」に入山し、伐採、枝打ち、原木搬出、それに伴う機械の操作や、その機械のメンテナンスを実習します。林業に携わる人に必須の技術を、実際の森林の中で習得する「現地現物主義」の学びです。

木は切るだけでなく、造林・育林も行います。森林の将来像をイメージして、森林を適切な状態に管理・育成します。また、山から搬出した原木と、その加工品を流通販売するため



道具のメンテナンスを学ぶ

建築

木材

「体験からはじめる木造建築」「木材を理解し、木材利用を考える」



JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2016

③



①

①杉の柱材を天然乾燥させ、表面割れなどの状態を定期的に記録する
②製材機を使った製材。丸太を四角い柱材に加工する



②

木材には様々な性質があります。すなわち太陽エネルギーを利用した「森林」「再生可能資源」の生物資源的な性質、「林業生産」「山村経済」の社会的な性質、「建築材料」「生活用具の材料」「楽器材料」の物質的な性質、「木のある雰囲気」の感性的な性質などです。この多面性が他材料にない面白さであり、可能性であり、強みと言えるでしょう。

木材利用なしに林業はありません。木材の性質を理解し、木材の面白さや強みを活かした木材流通、木材加工などを学びます。

木造建築の魅力は、木材の特性が活かされていることはもちろん、適切な動作寸法や間取りで計画され、性能や納まりなど細部に至るまで丁寧にデザインされることで、**穏やかな心地よい空間**がつかれることにあります。

そのため設計に必要な感覚を養えるように、空間・建物への繋がりを体験するところからはじめます。その上で、建物の構造や、温熱性能、製図や法規など、建築士になるために基本となる知識と技術を身に付けます。

また、クリエーター科の学生と一緒に、**建物を実際に建てること**で、つくることの楽しさに触れながら、**木造建築を身体で学びます。**



④

③自ら刻んだ材木で建てる「自力建設プロジェクト」はその学びの仕組みが「ウッドデザイン賞」を受賞
④設計のための敷地模型を、全員で作成

※卒業後は、「二級建築士」「木造建築士」試験を受けるために必要な実務経験年数が、7年から3年に短縮されます。

つながり

「世代と国境を超えたネットワーク」

総合力

「自分を見つけて人に伝える」



③



①



④



②

①自ら設定した課題「古式灰汁洗いの効果の比較」で行っている暴露実験を説明する
②研究内容をまとめて、人に伝わるようにプレゼンを行う

本学には年上の頼りになるお兄さん、お姉さんたち（大卒を対象としたクリエイター科の学生）が常に周辺にいます。平均年齢30代半ばで、前職も様々な学生が木造建築の他、林業、森林環境教育、木工などを学んでおり、普段の会話だけでも、人付き合いの仕方や新しい視点の獲得など、得るべきものが多くあります。
 また、長野県林業大学や京都府立林業大学、ドイツのロッテンブルク林業大学など、他校と学生が毎年のように交流をしています。在学中に幅広い視点を獲得し、人的ネットワークが形成され、皆さんの資産になります。

③自力建設について、クリエイター科の学生から説明を聞く
④大工合宿でクリエイター科から手刻みについて指導を受ける

林産業コース学生は1学年で概ね10名程度の人数です。それに対して、木材・建築の常勤教員は4名です。少数ですので、個性に合わせたきめ細やかな学びができます。
 総合的な力を身に着けるために、自分でテーマを設定し、提案書をとりとめ、発表する授業があります。各学生が納得いくまで調べつくしてまとめ上げますので非常に濃い内容の提案書となります。
 企業が採用選考時に重視する要素の上位に、①コミュニケーション能力、②主体性、③協調性、④チャレンジ精神、⑤誠実性、を挙げています。授業を通じて、これらの要素を向上させ、学生の持ち味を伸ばし自信を身に付けます。